

「かんきょう」パンフレット

2012年度キックオフ

第73号 (社内環境情報紙)

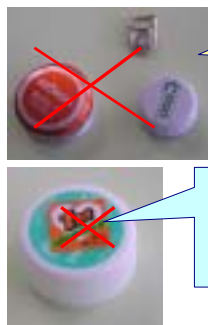
2012年4月10日

青柳工業株式会社 環境会議 事務局

4月5日(木)昼礼にて、本年度環境活動のキックオフが宣言され、社長の講和をいただきました。昨年度の環境活動目標項目は、5項目ともすべて達成したことに対する、感謝の言葉があり、今年度も、昨年と同様、夏季には電力事情が逼迫することが確実にピークカットやピークシフトの対策が取られることになるか否か情勢を見きわめ対応すると、引き続き協力の要望がありました。年数を重ねる毎に、環境活動に対する期待が大きくなって来ていますが、皆さんの協力で達成して行きたいと考えています。ご支援よろしく申し上げます。

2012年度目標
電力使用量 対前年比 1%削減
OA用紙リサイクル率 2%向上
OA用紙(A2, A3, A4)使用量 1%削減
ペットキャップ回収の拡大
パンフレット月1回発行

ペットボトルのキャップを回収する活動を開始しました



プラスチック...
金属・ゴム ---×

キャップに貼り付いた
シール等は はがすこと



キャップだけ分別して
ここから投入して下さい



本年度の環境活動目標の一つとしてペットボトルキャップ回収に取り組みます。この活動は、神奈川県的女子高生がキャップをそのまま捨ててしまうのは「もったいない」そんな気持ちから始まった活動です。捨ててしまえば、ただのゴミですが、再資源として活用するため、収集活動を決定しました。小さな努力の積み重ねですが、たくさん回収出来れば、それなりの金額になります。そのお金は、世界中の子ども達のワクチン代として使われています。この団体では、2007~2011年までの5年間で、約36億個のキャップが回収され、約250万人の子ども達にワクチンを提供しています。今回の東日本大震災では、被災した岩手、宮城、福島、茨城の4県に各1,000万円寄贈するなど活動を拡大してきています。当社も、まず小さな一歩から始めたいと思います。



環境管理者研修報告

3月28日(水)環境管理者研修が実施され聴講して来ました。KESの動向としては、今までのステップ、に加え、社会的責任を加味したKESステップSRとエネルギーマネジメントを視野にいれた、KESステップENが追加されることになりました。環境問題も新たなステップを模索しているものと判断します。

環境コラム 「ペットキャップ回収事業の問題点」

ペットボトルキャップ回収の問題点についても触れておきます。最大の問題点は、分別が徹底されないことです。回収したキャップの中に、少しでも金属やゴム類が混入していると、再処理機械等の破損につながり受け取ったメーカー側で再度分別をしている状況です。そのため分別作業がコストを押し上げる結果となり、受入を中止したメーカーもあるようです。この活動の大切なところは、資源として確実に分別することです。実は、この分別作業や粉碎作業に身体障害者の皆さんが活躍しています。この活動の側面には、社会事業としても機能している部分があります。様々な意見が交錯していますが、多少でも社会に貢献出来ると判断して活動することにしました。1個でも多くのキャップを集めたいと思いますので、ご協力お願いします。